

第4章 課題のまとめと改定の方角性

第1項 課題のまとめ

現状に基づく課題の整理

区の概況	
<ul style="list-style-type: none"> ●台地と谷からなる起伏の多い地形が特徴となっています。 ●人口は令和7(2025)年7月1日現在の住民基本台帳で282,281人であり、近年の傾向を基礎として区が行った推計では、今後も区の総人口は緩やかに増加傾向を続け、令和22(2040)年には約30万人となる見込みです。 ●高齢人口は令和7(2025)年4月1日現在の住民基本台帳で19.6%となっています。 ●土地利用は、住居系の用途地域の占める割合が高く、全区面積の73.5%を占めています。公園、運動場などの公園系の土地利用は3.2%となっています。 	
社会情勢の変化	
国際的な動向	SDGs、ネイチャーポジティブ、NbS、OECD、気候変動など
国の動向	生物多様性国家戦略2023-2030、生物多様性増進活動促進法、緑の基本方針、都市緑地法、グリーンインフラ推進戦略2023など
東京都の動向	「未来の東京」戦略、東京都生物多様性地域戦略、東京グリーンビズ、緑確保の総合的な方針、都市づくりのためのランドデザインなど
目黒区の動向	目黒区基本構想・基本計画、目黒区環境基本計画、目黒区都市計画マスタープランなど
生物多様性の現状	
<ul style="list-style-type: none"> ●「いきもの住民台帳」によると、区内で確認されているいきものは●●●種が確認されており、「めぐろの森」を拠点に数多くのいきものが暮らしています。 ●鳥類の年間確認種数は平均すると50種前後を推移し、指標在来生物種の分布率は増加傾向にあります。 ●生物多様性の言葉の認知度は減少傾向～横ばいで推移しています。 ●これまでの施策の取組状況 ●自然の変化を記録するため、広く区民への呼びかけを行い、区民から区内にいるいきものの観察記録を集めて、区の自然の姿や変化を把握する様々な区民参加型の生物調査を実施しています。 ●情報提供を行った方に「自然通信員」として登録いただき、引き続き情報提供をお願いしています。現在約1,300世帯が登録しています。 <p>いきもの調査の結果など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度に実施した区立公園4地点、都立公園2地点を対象とした、いきもの調査によると、鳥類は24種類、昆虫類は110種類、爬虫類は8種類、両生類は3種類、植物は193種類が確認されています。 	
みどりの現状	
<ul style="list-style-type: none"> ●2023年度の緑被率は17.0%であり、2014年度(17.3%)と比べて0.3ポイント減少しています。 ●2025年度の公園整備面積は48.99ha、区民一人あたりの面積は1.74㎡/人であり、目標値(2.0㎡/人)を下回っています。 <p>これまでの施策の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目黒区みどりの基本計画の改定を行った平成28(2016)年以降、新たに6か所の公園を新設・拡張しました。 ●みどりのまちなみ助成や、緑化計画書の提出など、区民・事業者とともに積極的な緑化を進めています。 <p>みどり・公園に対する区民意向など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2024年度の公園利用実態調査では、保育園等の園外保育に利用される公園が増加したことを背景に、乳幼児向けの遊具整備へのニーズが高まるなど、公園機能が不足する地域がみられます。 	

課題の抽出

○生物多様性の課題(p.●参照)

課題①

生態系に配慮したみどりの保全・創出に係る取組の充実

課題②

公民連携で進める「めぐろの森」の保全管理、外来生物の防除等の普及啓発

課題③

緑道や街路樹、個人の庭、生け垣、プランター等のいきものの移動経路の確保

課題④

生活の身近な問題として生物多様性に配慮した行動

○みどりの課題(p.●参照)

課題①

緑被率の減少傾向への対応

課題②

公園が不足する区域での整備や公園機能の再配置

課題③

人材育成や各団体への支援の強化

課題④

地域特性に応じたみどりづくり

総合的な計画課題

みどりの量を増やし、
質を高める

生物多様性に配慮した行動
変容を促す

一人ひとりが担い手となる
場や機会を充実する

いきものやみどりの
拠点の充実、活性化を図る

地域特性に応じて戦略的に
いきものやみどりを
保全・創出する

いきものとみどりに係る 社会課題

ゼロカーボンシティへ寄与する
みどりの創出

循環型社会の実現に向けた
みどりの活用

災害に強いまちづくりの推進

ゆとりと活気ある
まちづくりの推進

第2項 改定の方向性

「現状に基づく課題の整理(p.82 参照)」を踏まえ、「SDGsの目標達成への貢献」及び「ネイチャーポジティブの達成」に資する取組を、NbS(p.13 参照)の考え方にに基づき、あらゆる主体(行政、区民、事業者等)が連携しながら取り組むことで、いきものとみどりの将来像「みんなが一緒に みどりを感じ いきものを愛でる 笑顔広がる楽しいまち」の実現を目指します。

また、将来像の実現を目指すことで、目黒区基本構想の将来像「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」の実現に寄与することを改定の方向性に位置づけます。



図 4-1 課題のまとめと改定の方向性

第5章 基本理念と目標

第1項

基本理念

《 基本理念 》

『(仮)人もみどりもいきものも

みんなで支える 豊かな暮らし』

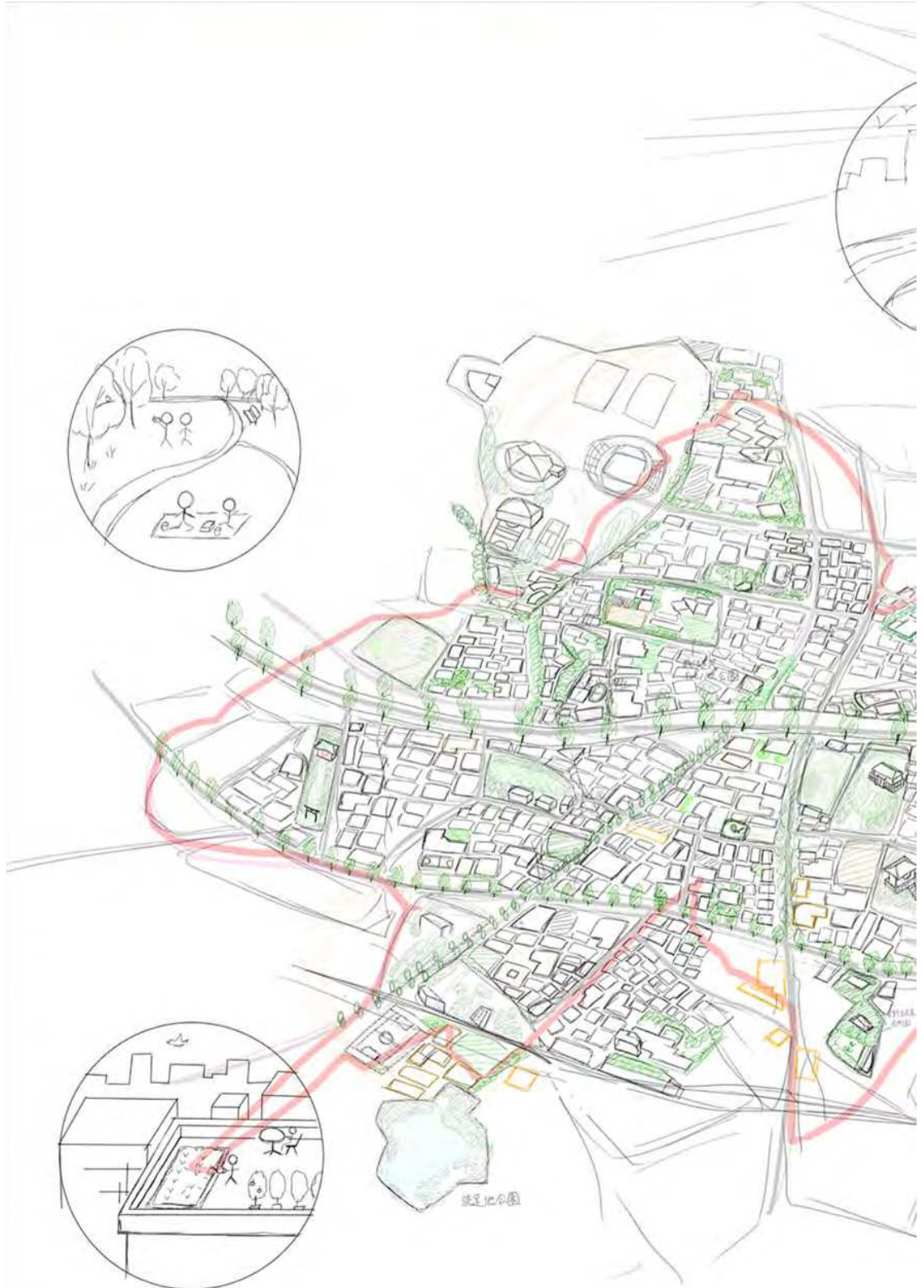
- みどりが減っていく中でも、区民一人ひとりの活動によって守られるみどりがあり、いきものが活動する範囲は広がり続けています。
- 区民や目黒区を訪れる人々は、みどりやいきものと触れ合いながら、自然に学び、楽しく心安らぐ雰囲気を楽しんでいます。
- このように人とみどり、いきものが互いに支え合う関係は、現在の目黒区の豊かな暮らしを形作る原動力となっていることから、本計画では、より多くの区民等の参加を促す工夫を行い協働の輪を広げ、人もいきものもずっと住み(棲み)続けたいくなる心地よいまちの実現を図っていくことを基本理念とします。

第2項 いきものとみどりの将来像

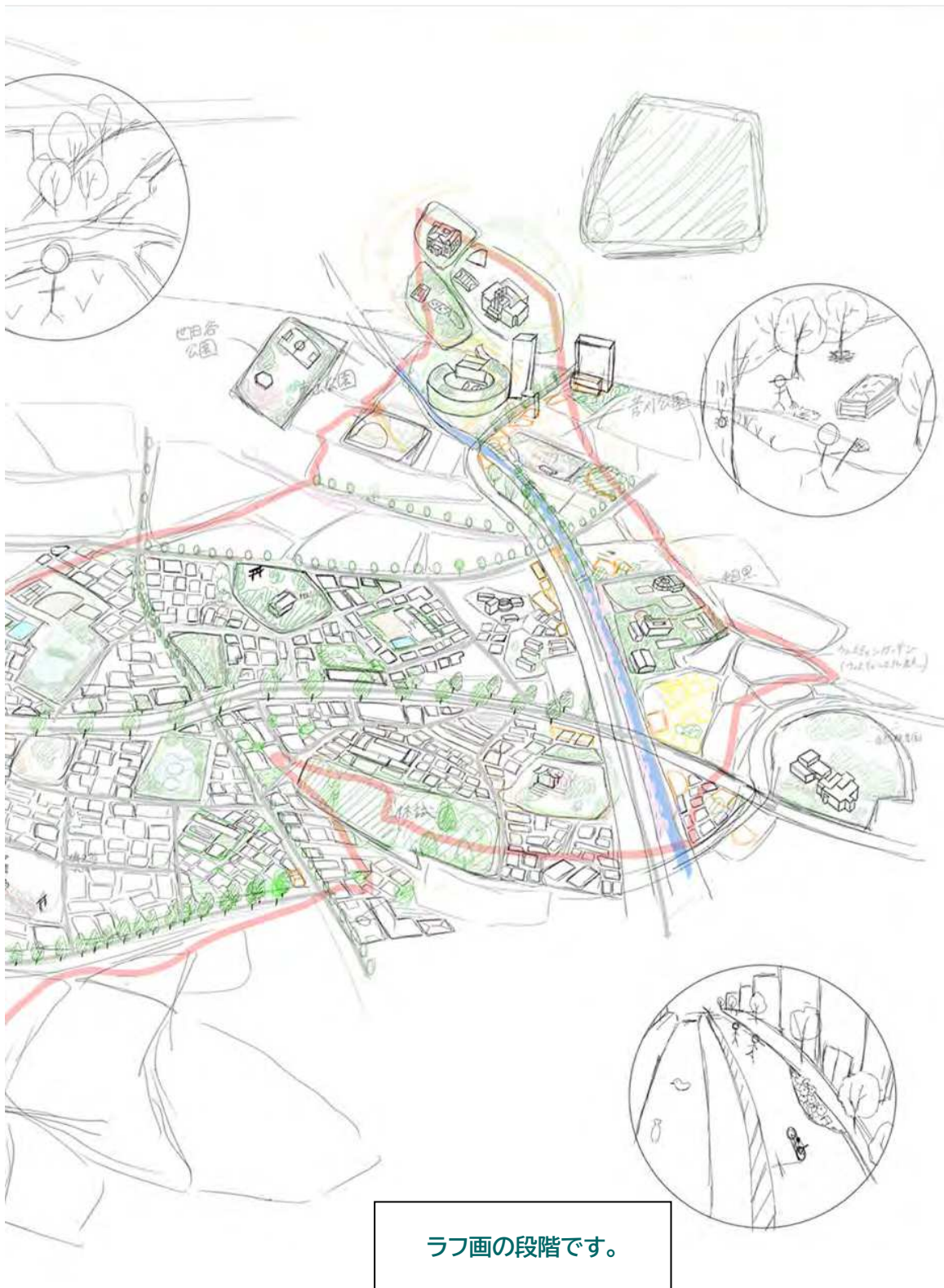
- 基本理念に沿って取組を展開していった先の将来像は、区民や事業者、学校、区等が協働して様々ないきものも利用できる空間が広がり、あらゆる身近な場所でみどりやいきものと触れ合い、親しみ、学ぶことのできるまちです。
- さらにこうしたみどりは、緑陰を形成することで区民の避暑地となり、華やぐ公園や緑道は利用者に心地よさをもたらすなど、グリーンインフラとして多様な機能を発揮しています。
- また、誰もが安全・安心に利用できる公園では幅広い世代の交流が促されるとともに、区民や事業者等のアイデアが活かされ、賑わいの絶えない楽しいまちとなっています。

《目黒区の いきものと みどりの将来像》

(仮)みんなが一緒に みどりを感じ いきもの



を愛でる 笑顔広がる楽しいまち



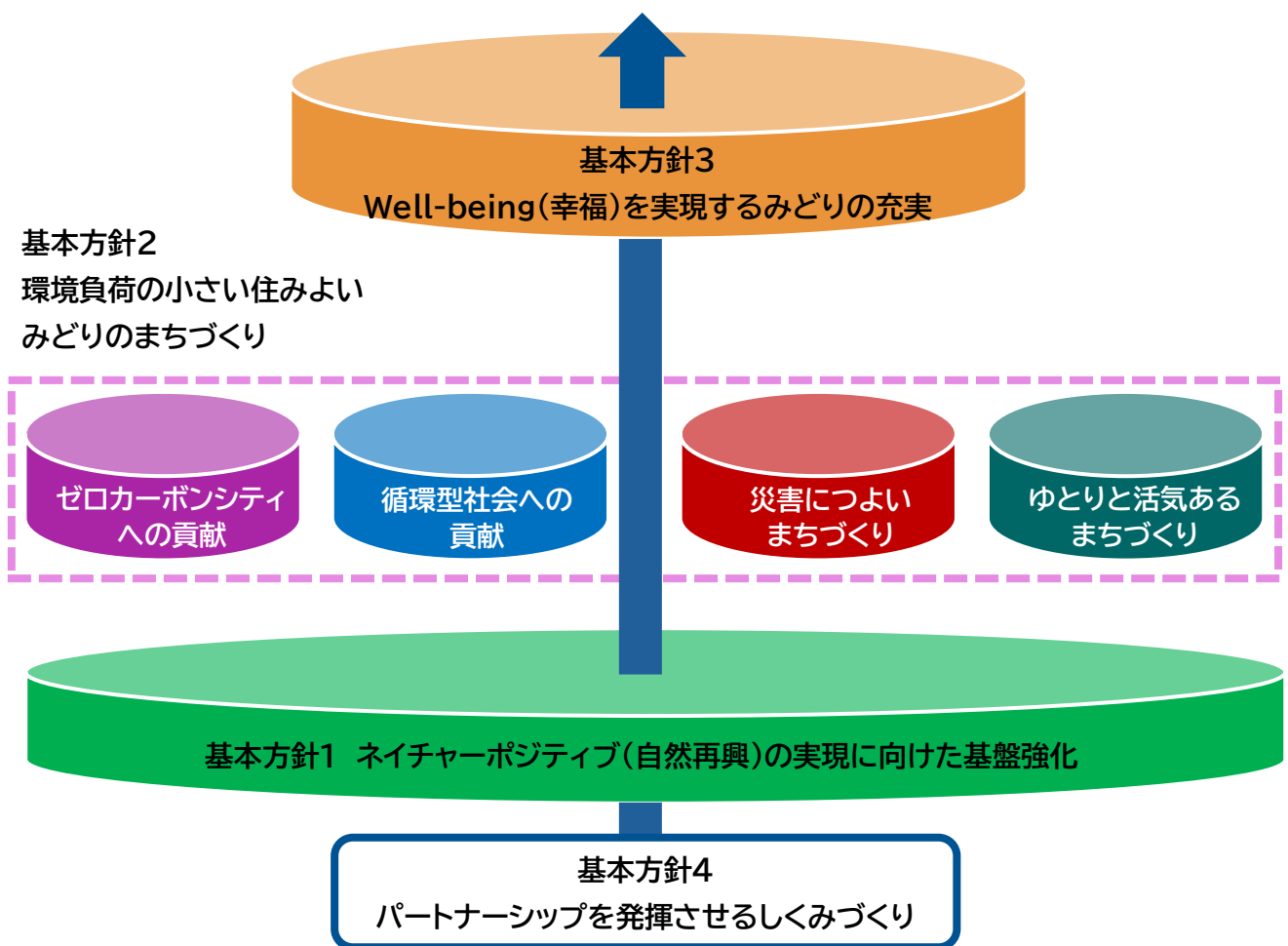
ラフ画の段階です。

第3項 基本方針

みどりの将来像の実現のため、「ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現に向けた基盤の強化(基本方針1)」を推進します。

その上で、「環境負荷の小さい住みよしみどりのまちづくり(基本方針2)」を進めることで心地よいまちの形成を図るとともに、「Well-being(幸福)を実現するみどりの充実(基本方針3)」によって、みどりやいきものの豊かさが人々の幸福に結び付く取組を展開します。

これらの取組は「パートナーシップを発揮させるしくみづくり(基本方針4)」を行うことで、区民や事業者など多様な主体が自分事として活動に参加し、ともに将来像の実現に向け取り組む裾野を広げていきます。



第4項 計画のフレームと目標

(1) 計画のフレーム

目標年度である令和17(2035)年度における計画の対象区域、人口の見通しを次のように設定します。

表 4-1 計画のフレーム

計画対象区域	人口の見通し※
目黒区全域 14.67 km ²	308,165 人

(※目黒区 人口・世帯数の予測 令和6年3月より)

(2) 計画の目標

○ 生物多様性の目標とみどりの目標

検討中です。

第6章 施策の方向性

第1項 施策の体系



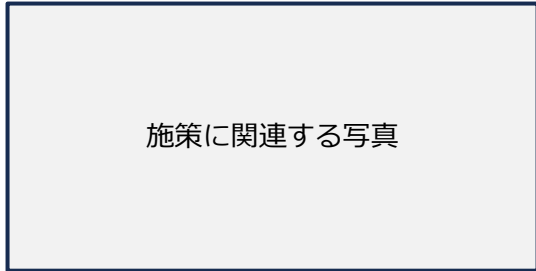
関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
生物多様性保全林指定箇所数			
野鳥の年間確認種数			
タンポポ、ツバメ等の指標在来生物種の分布率			

施策7 水環境の保全と親水空間としての活用
 目黒川と呑川を中心に、水質の改善とつながりのある水環境の保全を推進し、区民と共にいきものに親しめる水辺環境を整備します。また、雨水浸透施設の導入や湧水保全により、都市の健全な水循環を構築します。



施策のポイント	行政	区民	事業者
●目黒川と呑川を自然豊かな親水空間にするため、各流域の他自治体や東京都と連携し、水質の改善や生態系に配慮した河床整備に一体となって取り組みます。	●		
●河川や公園の池等の水質改善を図るとともに、自然や水と親しむことのできる水辺環境を守り活用する取組を区民と共に推進します。	●	●	
●学校や公園にビオトープを設置することでトンボなどの水辺生物の生息環境を創出し、自然とのふれあいの場としての活用も推進します。	●	●	
●樹林等の保全や雨水浸透・貯留機能の高い植栽基盤の導入など雨水浸透の促進に努めるとともに、湧水地点の保全を図ることにより水循環の確保を推進します。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
ビオトープの整備箇所数【累計】			

1-4 区民や事業者の自発的な活動への支援の拡充

施策12 区民が参加できる生物多様性保全活動の推進

区民が参加できるいきもの調査や環境教育の場を充実し、一人ひとりが生物多様性保全活動をじぶんごととして捉え活動に参加できる環境を整えます。

施策に関連する写真

☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
●いきもの発見隊などの区民参加型のいきもの調査や観察会の定期的な実施に加え、緑地の維持管理ボランティアの活動を支援し、身近ないきものを理解し親しむ機会を充実します。	●	●	
●生物多様性リーダーや自然通信員を育成するとともに、区民の生物多様性に資する活躍の場を提供します。	●	●	
●区民が観察したいいきもの情報を報告する手段の簡易化と、DX を活用した新たな報告方法を検討するとともに、区民の自然通信員への参加を促進します。	●	●	
●いきもの住民台帳を定期的に更新し、区民等による地域の生態系保全活動の基礎資料として活用します。	●	●	

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
自然通信員の登録者数			
いきもの气象台の情報提供数			

コラム

（この欄は空欄です）

基本方針2 環境負荷の小さい住みよしみどりのまちづくり

2-1 ゼロカーボンシティへの貢献

施策14 建物緑化による市街地環境の改善

街中のみどりを増やし環境負荷を低減するため、既存の壁面緑化・屋上緑化を健全に保ち、新たな壁面緑化・屋上緑化を増やすための取組を推進します。

施策に関連する写真

☞ 施策のポイント

- 緑化工事費の一部を助成するなど屋上緑化・壁面緑化を推進するとともに、既存の壁面緑化・屋上緑化の機能の維持を図るための支援等の検討を進めます。
- 助成により屋上緑化・壁面緑化を行った優良事例について区公式ウェブサイトで紹介するなど、壁面緑化・屋上緑化の取組の裾野を広げるための方法等について検討を進めます。

行政	区民	事業者
●		●
●		●

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針〇 〇-〇 施策〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
みどりのまちなみ助成実績件数(屋上緑化)			
みどりのまちなみ助成実績件数(壁面緑化)			

施策15 他自治体と連携したゼロカーボン対策の推進

持続可能な社会の実現に向け、「多摩の森」活性化プロジェクトをはじめとする他自治体との連携によるカーボンオフセットの取組を推進します。

施策に関連する写真

☞ 施策のポイント

- 都内多摩地域及び友好都市の森林において、区の森林環境譲与税を活用し財政的な支援を行うことで、森林環境の整備を促進し、森林の公益的機能の向上を図ります。また、森林整備による CO₂ 吸収量と区で排出される CO₂ 排出量とのオフセットを図ります。(「多摩の森」活性化プロジェクト、友好都市森林整備事業)

行政	区民	事業者
●		●

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

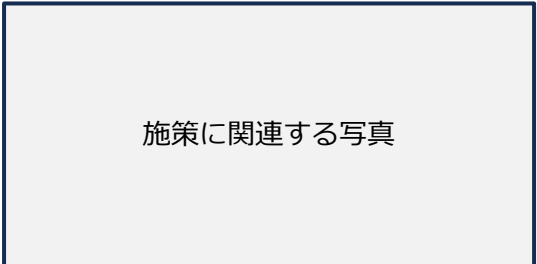
成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
年間のCO ₂ 排出量(t-CO ₂)			

2-2 循環型社会への貢献

施策16 循環型社会の形成に向けた都市緑地の活用

緑地の維持管理で発生する落ち葉や廃材、降水時の雨水などの資源を循環させ、有効活用する仕組みを検討し、持続可能な社会の実現を目指します。



☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
●落ち葉バンクなど落ち葉等を自然に返すリサイクルを推進し、堆肥化した落ち葉や家庭で発生した生ごみ等は肥料として公園等の植栽や家庭ガーデニングに活用したり、希望する利用者へ配布したりするなど資源循環の仕組みを構築します。	●	●	
●維持管理等で発生した樹木の廃材について、チップ化等により希望する区民への配布や被災時の燃料として活用するなど有効活用を検討します。	●	●	
●雨水を貯留タンク等で貯留し、公園内の花壇の水やり等に活用する取組を推進します。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
堆肥作り等を実施している公園活動登録団体数			
落ちバンク設置数			

施策17 未来に残す「農の風景」

区内に残る農地を保全・活用するため、様々な制度の普及啓発や農地でのイベントの開催を推進し、「農の風景」を未来に残します。

施策に関連する写真

施策のポイント

	行政	区民	事業者
●特定生産緑地の指定制度、都市農地貸借法等に関する普及啓発を行い、更なる農地保全に務めるとともに地産地消の取組を推進します。	●		
●区内農地の保全と農業経営の合理化を図るための助成、農業者の栄農意欲の向上を図るための農産物品評会・即売会の実施及び収穫体験農園の設置・運営に対する補助を行います。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
特定生産緑地の指定面積(m ²)			
農産物品評会・即売会の来場者数			

コラム

（この欄は空欄です）

2-3 災害に強いまちづくり

施策18 みどりを活かした防災への取組

雨水浸透・貯留機能の高い植栽基盤の導入など、緑地のもつ浸透機能を活かした災害が起こりにくいまちづくりを推進します。



☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
● 草本による表層土壌の保護・流出の防止機能や、樹木の根による土壌の補足機能など、みどりをもつ土壌侵食の防止機能を最大限発揮するための維持管理を推進します。	●		
● レインガーデンなど公園の改修にあわせて雨水貯留浸透施設の設置を推進し、説明型表示板を設置することで暮らしに役立つグリーンインフラの機能について普及啓発を行います。	●		
● 新たに舗装を行う際は透水性舗装など雨水による影響を軽減する取組を推進します。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
流域対策の単位対策量(m ³ /m ²)			
透水性舗装の整備			
レインガーデン等の整備			

施策19 大規模災害に負けない都市づくり

公園等を活かし、有事の際に防災拠点となるような施設(防災倉庫等)の整備等を推進します。



☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
● 公園施設の更新の際は、防災機能を備えた施設(かまどベンチ等)への更新を、地域住民の意向を踏まえながら推進します。	●		
● 木造住宅密集地域など災害リスクの高い地域では、立体都市公園や借地公園等も含めた多用な手法により公園等のオープンスペースの確保を推進し、火災時の緩衝帯として機能させることで被害の軽減を図ります。	●		
● 区民や土木関係者等が参加できる防災訓練や防災キャンプなど、公園の有効活用を図ります。	●		

●倒壊危険性のあるブロック塀の除却にあわせた接道部緑化、通学路や緊急輸送道路沿い、避難路沿いのブロック塀の生け垣への転換を促進します。	●		
---------------------------------------------------------------------	---	--	--

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
防災設備(かまどベンチ等)設置件数			
防災訓練の実施実績			

2-4 ゆとりと活気あるまちづくり

施策 20 ゆとりある住環境の創出

みどりのつながりを意識した一体感のある景観を創出し、区民がゆとりを感じられる居心地の良いまちづくりを推進します。



施策のポイント	行政	区民	事業者
●緑化計画の認定等により民有地の緑化の指導を行うとともに、大規模な公園周辺の民有地の緑化や道路沿いの緑化では公園との一体感を創出するようなしつらえに配慮するなど、事業者と協力しながらゆとりある住環境の創出を推進します。	●		●
●接道部緑化の際は自然や四季を感じられる道づくりに留意し、特に緑道沿道に建つ建築物については、緑道との一体感を生み出すように接道部緑化を誘導します。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
住み心地よいと感じている人の割合(%)			
接道部緑化助成延長(m)			

3-2 心身の健康を育むみどりづくり

施策24 心身の健康づくりが行える公園等施設の充実

区民の心身の健康増進を図るため、すべての人が快適で安全に散歩や運動ができる公園や緑道の整備を推進します。

施策に関連する写真

☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
●公園等への健康遊具やスポーツ施設等の導入を推進し、地域で身近に運動やスポーツを行える場を提供することで、生活の中で運動習慣が根付くよう坂道ウォーキングなどの健康プログラム等の支援を継続するとともに、観光アプリなどとの連携について検討します。	●		
●障がいの有無、性別、年齢、国籍等に関係なく誰でも安心して利用できるようユニバーサルデザインによる公園や緑道の整備を推進します。	●		
●長寿社会における区民の健康的な暮らしを実現するため、公園利用実態や近隣の居住者の年代層等を考慮した、公園や緑道で気軽に散歩や運動ができる環境整備を推進します。	●		
●みどりの散歩道の整備にあたっては、点在する歴史的資源と一体的に整備し、ネットワーク化することでまちの自然や身近な歴史を楽しむ場を創出します。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
散歩、運動目的での公園利用者数			
健康器具の活用プログラムの実施数			
公園等施設のバリアフリー化の実施数			

コラム

施策 25 安心して使い続けるための公園の維持管理

トイレや遊具などの老朽化、樹木の繁茂による見通しの悪さなどの問題に対して、日々の点検や適切な管理によって、安全・安心の使いやすい公園づくりに取り組みます。

施策に関連する写真

施策のポイント

	行政	区民	事業者
●「目黒区公園施設長寿命化計画」に基づき、劣化や損傷を事前に予防する計画的な公園施設の維持管理を進めるとともに、施設の延命化を図り、安全で安心して利用できる公園整備を進めます。	●		
●施設の更新や公園等の全体的な改修にあたっては、公園等の利用状況や利用者の需要を把握し、更新内容に反映します。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
公園施設の更新箇所数			
樹木の健全度調査の実施			
公園が安心・安全であると思う人の割合(%)			

コラム

施策 27 みどりを通じた活動の場の提供の推進

区民によるみどりや生物多様性に関する主体的な活動を広げるため、活動するために必要な場所や情報、資材などを提供し、区民がより活動しやすい環境づくりを推進します。



☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
●グリーンクラブや公園活動登録団体等のボランティア活動のすそ野を広げるため、公園等の活動場所の提供を適宜実施するほか、みどりの散歩道を活用したクイズラリーや SNS 等を活用した区民自身によるいきものの情報発信など、新たな活動場所の提供に向けた検討を推進します。	●		
●地域における質の高いみどりづくりに取り組むことのできる人材、生物多様性リーダー、インタープリター、自然環境学習に寄与できる人材など人材育成の場として公園等の活用を推進します。	●	●	
●団体の希望に応じた指導者の派遣や、活動するために必要な機材の貸し出し、活動場所の提供等、ボランティア活動の支援内容を充実させるための検討を進めます。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
グリーンクラブの活動場所数			
生物多様性リーダー等の育成講座の開催			
公園活動登録団体数(団体数、人数)			

コラム

Blank area for the column content.

施策 29 四季を感じるみどりづくりと活用

区民がみどりへの関心をもつきっかけをつくるために、サクラをはじめとする四季を感じられる環境の保全・創出を図るとともに、公園などでの季節を楽しむイベントの開催を推進します。



施策のポイント

	行政	区民	事業者
●区民や事業者と連携し、緑化の際は野鳥等の好む実や季節を感じる花、紅葉など、季節や旬を感じる植栽を推進します。	●	●	●
●サクラ基金を活用した計画的なサクラの保全・更新を進めるとともに、樹木管理に係る予算の適正な確保策の検討を進めます。	●		
●イベントを通じてサクラの保全に関する区の実践などの普及啓発を図り、区民とともにサクラのある風景を伝えまもる取組を推進します。	●	●	
●さんま祭りなど、旬の食材を活かしたイベントを公園などで実施するほか、小学校などと連携し、季節を楽しむイベントを推進します。	●	●	
●民有地のサクラについて、保護育成の支援等を検討していきます。	●	●	●

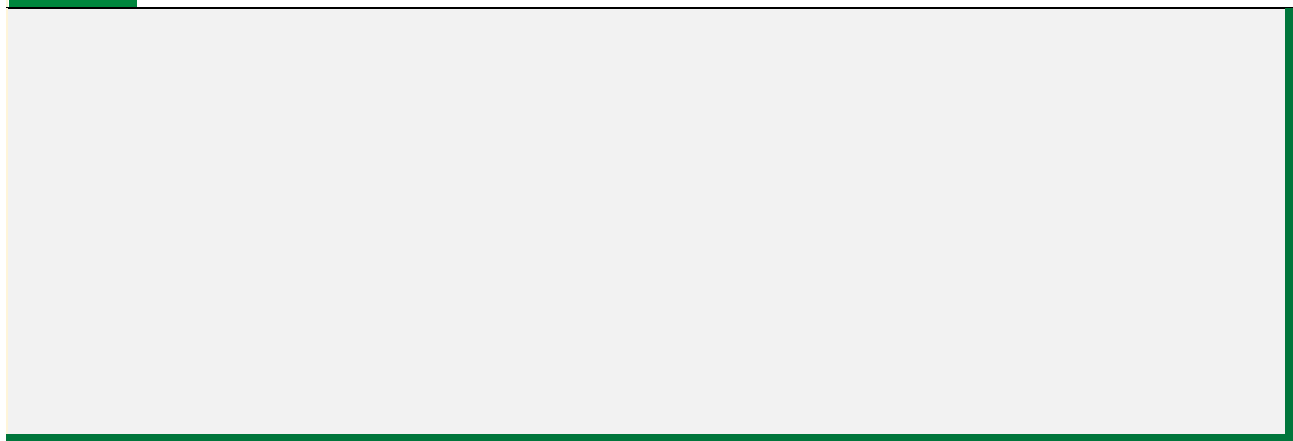
関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
桜守活動の実施			
さんま祭りの来場者数			

コラム



施策 30 農地を通じたみどりとの触れ合い

土地所有者や事業者と連携し、既存農園の整備や区民農園の新規開設を目指し、区民が農とふれあう機会を増やします。

施策に関連する写真

施策のポイント

	行政	区民	事業者
●区内の幼稚園や保育園、小学校と連携し、環境学習の一環として農業体験の場としての活用や学童農園の整備、学校給食への活用などを推進し、食育等を通じて子どもたちが身近な農にふれ、地産地消の大切さやいきものつながりを学ぶ機会を増やします。	●	●	
●区民農園での野菜づくりや収穫体験、農産物品評会、収穫体験農園等の実りのイベントの際、グリーンインフラ等の都市農地の役割について普及啓発を進めます。	●		
●障害者や高齢者などの農業体験を通じた交流の場の提供や健康増進、生きがいづくりなど、福祉分野の事業者等と連携し農福連携の取組を検討します。	●		●

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
…	
…	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
区民農園の整備			
区内の農地面積(m ²)			

コラム

（この欄は空欄です）

4-2 協働を促すしかけづくり

施策 33 区民や事業者の参加を促す仕組みづくり

生物多様性に資する活動を区が率先して取り組み、既存の認定制度などを活用し、区民や事業者に生物多様性に配慮した取組の参加を誘導します。



☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
●事業者が生物多様性に資する活動に積極的に取り組めるように、「緑化の手引き」の更新や、自然共生サイトや江戸のみどり登録緑地制度など既存の制度を活用した取組への誘導等を行います。	●		●
●「いきものすめる庭」認定などの認定制度や民間団体の活動の表彰制度を推進し、区民のみどりや生物多様性への関心を高めます。	●	●	
●生物多様性に配慮した生産者や事業者を支えるための消費活動を区自ら実践するとともに、区民や事業者等に対して生物多様性への配慮活動の普及啓発を行います。	●		

関連施策など

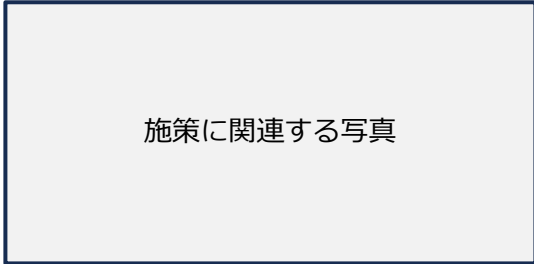
関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
緑地認証制度の活用			
みどりや生物多様性に関する取組を実践する区民の割合(%)			

施策 34 多様な人が活躍できるみどりの活用

みどりの活動への参加を促す仕組みづくりや、みどりのある場所での活動を推進することで、多様な人が気軽にみどりを活用して関わりをもてる機会を増やす取組を進めます。



☞ 施策のポイント

	行政	区民	事業者
●花とみどりの学習館のスタッフと行う草取りや花壇管理など、継続的に活動できない場合も気軽に参加できる「トライアルボランティア」などの取組を推進します。	●	●	
●「みどり×音楽」、「みどり×健康・スポーツ」、「みどり×防災」、「みどり×俳句」など、様々な分野やテーマと組み合わせたイベントや活動を推進することで、多様な人がみどりに関わる機会を増やします。	●	●	
●みどりの活動に参加したい人と活動場所をつなげる登録制度など、地域での緑化活動や地域コミュニティへ気軽に参加できる仕組みについて検討し、区民参加のハードルを下げる取組を進めます。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
みどりの活動に参加している区民の割合(%)			
みどりを活かしたイベントの開催実績			

施策 35 学びの場の多様化による人材育成の推進

町会・自治会が地域のコミュニティ形成の基礎となることを踏まえ、地域の人材確保・人材育成を図るため、社会教育講座や、花みどり人(すと)講座の実施等の取組を推進します。



施策のポイント	行政	区民	事業者
●講座は「オンラインによる学び」と「対面による学び」を組み合わせ、時間的・空間的な制約を超えた学びなど、さらに豊かな学習機会の提供を進めます。	●		
●自然観察舎で里山の暮らし方を学ぶ機会の創出や、「めぐろシティカレッジ振興会」、「エコライフめぐろ推進協会」との連携・協力による専門性を生かした学習機会の提供など多様な学び方を充実させます。	●		

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針○ ○-○ 施策○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
花みどり人講座の参加人数			
みどりの活動に参加している区民の割合(%)			

コラム

施策 36 区民、事業者、区民団体等の連携の促進

多様な主体が連携してより良いまちづくりを推進するため、情報共有のデジタル化やオープンスペースの活用、パートナーシップ締結の支援などに取り組みます。

施策に関連する写真

施策のポイント

	行政	区民	事業者
●花みどり人講座などの講習会修了生を登録し、地域や学校等のみどりづくりや植物の病害虫防除等の指導者とするなど協働を推進します。	●	●	
●ボランティア団体や利用者の交流・情報共有等のデジタル化を推進することにより、手続きの簡素化、効率化、施設利用の拡充を図り、公園利用促進や活性化、サービスの向上に努めます。	●	●	
●社寺、企業、大学、病院等の民有のみどりをオープンスペースとして区民の活用を推進できるよう協働を推進します。	●		●
●公民連携によるまちづくり(エリアプラットフォーム)の制度を活用し、地域のまちづくり協議会と連携することで、まちづくり活動の場として公園、広場などを利用しやすいルールづくりなどの環境整備を推進します。	●		●
●大学や事業者、区民団体等、様々な主体がそれぞれの専門性を活かし、みどりの保全・創出に向けて相互に連携するためのワーキングを立ち上げ周知を図っていくなど、連携の仕組みづくりについて検討を進めます。	●	●	●

関連施策など

関連施策名	ページ番号
基本方針 ○ ○-○ 施策 ○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	p.●
...	
...	

成果指標と目標

指標・目標名	現状	目標(中間)	目標
花みどり人講座修了生の登録者数			
オープンスペースとして活用している民有のみどりの箇所数			

コラム

（この欄は空欄です）

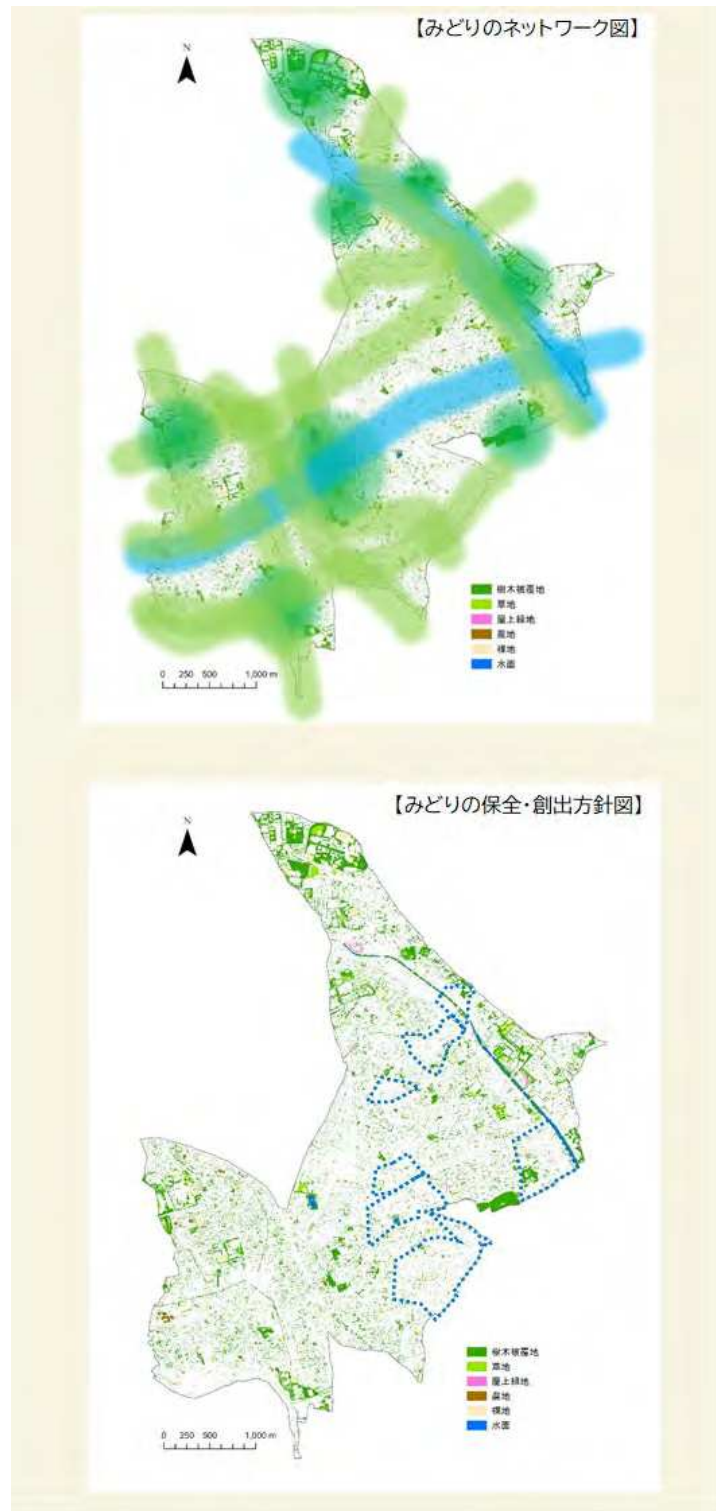
第7章 重点的取組

検討中です。

第 8 章 地域別方針

第1項 みどりの配置方針

みどりの拠点である8つの「めぐろの森」の維持・質の向上を図るとともに、目黒川や目黒通り沿いの街路樹などを「みどりの軸」としてつなげ、住宅地等のみどりの保全・創出を図ることで、多様ないきものが行き来できるエコロジカルネットワークの整備を進めます。



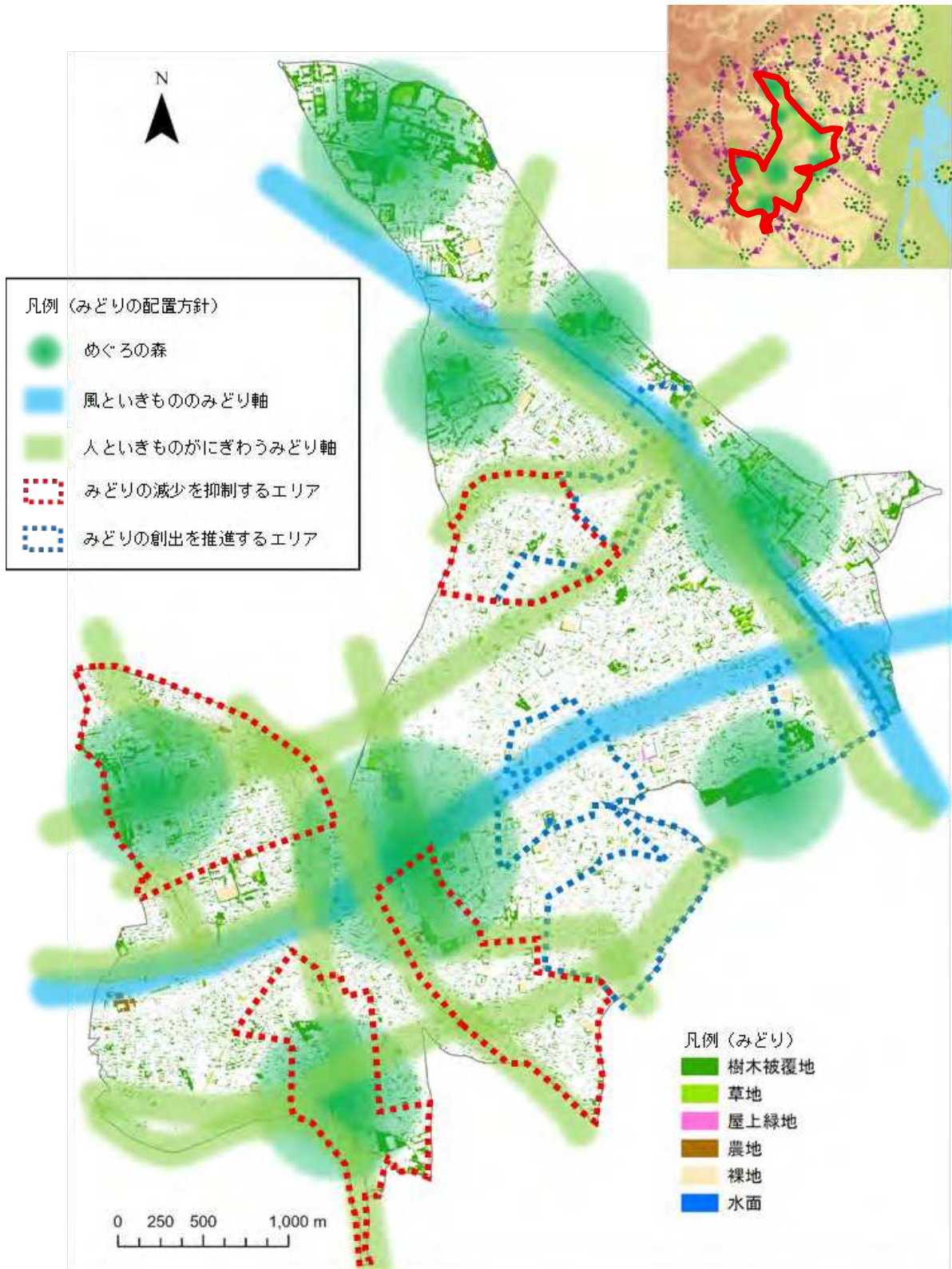


図 8-1 みどりの配置方針図

(1) みどりの拠点と軸の形成方針

① めぐろの森

「めぐろの森」は、みどりに求められる役割の供給拠点として、区内で特に優れた自然環境を有する公園や大学等の既存の大規模緑地を中心に、周囲の住宅・事業所等の小規模なみどりを含めてみどりの保全と緑化を推進する8つのエリアを設定します。

これらの樹林や草地、湧水、池等の自然環境を保全・創出することで、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全・回復、自然とのふれあいの場の提供、防災機能の向上、良好な自然景観の形成、コミュニティの形成を図ります。

拠点となる樹林等は生物多様性保全林の指定を進め、区民や専門家等により自然環境の変化についてモニタリングを継続し、各主体の協働により将来像の実現に向けた活動を推進します。

各「めぐろの森」における、みどりの保全・創出・育成に関する方針は、表3-1のとおりです。

表8-1 「めぐろの森」におけるみどりの保全・創出・育成に関する方針①

駒場野の森	
 <p>里山かじゅえん(駒場野公園内)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公園や大学構内の樹林、池、湧水と流れ、水田等の多様な自然の保全、育成を図るとともに、利用面とのバランスを取りながら管理運営を進めていきます。 ●駒場公園のカシ類などの常緑林、駒場野公園のクヌギを主体とした雑木林の環境を維持していきます。 ●雑木林では、きのこの栽培、炭焼きなど、駒場野公園自然観察舎を活動拠点とした地域の参加を継続し、他の地域のモデルとして里山・里地の自然の恵みを享受しながら、継続性の高い保全活動を行います。 ●駒場野公園の水田(ケルネル田んぼ)は、農薬を使わない耕作を継続し、アマガエル、コバネイナゴ、カワヂシャ、セリ等水田とともに暮らすいきものの保全を図ります。 ●代々木公園や明治神宮のみどりとのネットワークに留意し、いきものの生息環境の保全を図ります。
 <p>大池(駒場野公園内)</p>	

表 8-1 「めぐろの森」におけるみどりの保全・創出・育成に関する方針②

東山の森	
 <p style="text-align: center;">東山公園</p>  <p style="text-align: center;">ビオトープ池(東山公園内)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東山公園は、樹林帯を育成するとともに、区民との協働でピオトープの池や、草地を保全し、多様ないきものの生息に適する環境として育てていきます。活動には公園活動登録団体のほか小学校や住区住民会議、町会等とも連携した保全活動を推進します。 ●樹林帯の育成にあたっては、駒場野公園、菅刈公園などから拡散する樹林性の動物を定着させるような整備を進めます。 ●目黒川の目黒台側崖線に残る湧水(東山貝塚公園等)の保全を図り、水源となる土壌の雨水浸透機能を有する東山公園一帯の植生を育成していきます。 ●目黒天空庭園は、みどりとふれあう地域の活動の拠点としていきます。
菅刈西郷山の森	
 <p style="text-align: center;">菅刈公園</p>  <p style="text-align: center;">西郷山公園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●菅刈公園の斜面の樹林は、目黒川の崖線沿いに残る貴重な既存樹林として保全を図ります。 ●菅刈公園の樹林保全活動では、既存樹林周辺のクヌギ等の雑木林を、地域の参加で育成し、野いちご等の見られる林を目指します。また、剪定した枝を利用したクワガタ類等の越冬するエコスタック、きのこ栽培など、自然の恵みの享受や体験型学習の場づくりなど継続した取り組みのための活動を工夫します。 ●菅刈の地名の元であるスゲ類の導入を図り、バッタ類等の生息する原っぱを広げます。 ●西郷山公園は、菅刈公園と一連の緑地帯の形成を意図した樹林の保全、育成を図るとともに、眺望を活かしたみどりとふれあいの拠点としていきます。

表 8-1 「めぐろの森」におけるみどりの保全・創出・育成に関する方針③

中目黒の森	
 <p style="text-align: center;">中目黒公園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中目黒公園や目黒川の崖線等の樹林、湧水池、草地、目黒川等の多様ないきものの生息・生育環境の保全育成を図り、国立科学博物館附属自然教育園など、周辺のみどりとのネットワークの強化を図ります。 ●中目黒公園のクヌギ、コナラを主とする雑木林は、地域の環境学習の一環として萌芽更新を行い、里山の環境を維持していきます。また、落ち葉や剪定枝は土に還元し、野菜づくりなどに活用します。 ●トノサマバツタが見られる中目黒公園の草地は、日影をつくる高木等の植栽は避け、チガヤやススキ等の草地を維持します。草地は区域を分け、草丈に変化をつけながら定期的に草刈りを行います。 ●目黒川と近距離にある中目黒公園のいきもの池は、トンボや水鳥、ヒキガエル等の産卵池として保全育成を図ります。 ●花とみどりの学習館を活動拠点として、季節の花を育成し、植物に集まるいきもの等について、メディアボードを活用した解説などの啓発を行います。
 <p style="text-align: center;">いきもの池(中目黒公園内)</p>	
下目黒不動の森	
 <p style="text-align: center;">都立林試の森公園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●目黒不動尊等の社寺林や都立林試の森公園の樹林、崖線に残る湧水など、多様な自然の保全に努めます。 ●都立林試の森公園の林業試験場時代から継承されるケヤキ、クスノキなどの巨木等を後世に伝え、低木層、草本層の回復を行い、オオタカやサンコウチョウなどの絶滅のおそれのある野生生物の種の指定のある野鳥の飛来地として、またホウチャクソウ、ジュウニヒトエ、カントウタンポポなどの野草の育成地として保全を図ります。 ●羅漢寺川沿いのクヌギ林には、ゴマダラチョウ(チョウ類)などが見られ、更新や補植などを行い樹林の継承を図ります。
 <p style="text-align: center;">目黒不動尊</p>	

表 8-1 「めぐろの森」におけるみどりの保全・創出・育成に関する方針④

大岡山中根の森	
 中根公園	<ul style="list-style-type: none"> ●東京科学大学周辺や中根公園では、呑川沿いの段急斜面に位置する残存林や池等の多様な緑地の保全に努め、東京湾とつながる呑川の維持用水の確保に努めます。 ●大学構内に残るホタルブクロやフデリンドウ、中根公園のタチツボスミレやウラシマソウ等の野草が見られる環境の保全を図ります。 ●洗足池公園(大田区)など、隣接区のみどりとのネットワークを強化するため、広域的ないきものの現況把握に努め、みどりの保全育成を図ります。
 呑川本流緑道	
碑文谷の森	
 碑文谷公園	<ul style="list-style-type: none"> ●碑文谷公園、すずめのお宿緑地公園、田向公園、碑文谷八幡宮等、それぞれの緑地の維持管理を継続し、多様な生息環境を維持することでネットワーク化を図ります。 ●生物多様性保全林として碑文谷公園管理運営計画書に沿って管理します。また、碑文谷公園サクラ再生実行計画に基づき、池に映える桜の風情、多品種の桜、春の高揚感を再生します。 ●かつて農業用灌漑(かんがい)池だった碑文谷公園弁天や清水池の水質の向上と、湧水等による水の確保、在来種の水生生物の生息環境の保全に努めます。 ●碑文谷公園の弁天池周辺のシラカシやクヌギなどの既存樹の保全を図り、地域に親しまれているサクラの保全や更新を図ります。
 すずめのお宿緑地公園	

表 8-1 「めぐろの森」におけるみどりの保全・創出・育成に関する方針⑤

東が丘衾の森	
 <p>衾町公園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公園や大規模な公共施設内の緑地は、いきものが生息・生育する拠点として保全育成を図るとともに、身近ないきものとのふれあいの場としての活用を推進します。 ●屋敷林や社寺林など、むかしの面影を残す樹林や残されている生産緑地の保全を進めます。 ●緑道や街路樹を軸に、民有地の庭など小規模な緑地を連続的に残し、つなげ、多様な生息環境をつくり、ネットワーク化を図ります。 ●区民キャンパス内の、都立大学当時からあるシイノキやクヌギ、区内で拾ったどんぐりから育てたクヌギの雑木林、ピオトープの池等の保全育成を図ります。
 <p>区民キャンパス公園</p>	

② 風といきもののみどり軸

目黒川や目黒通り沿い周辺の地域では、区内の他の地域と比べて地表面温度が低く、主要なみどりといきもののネットワークとして「風といきもののみどり軸」に位置付けます。これらの通り沿いのみどりの保全・創出を進め、ネットワークをつなげることで、目黒区の景観形成の向上を図るとともに暑熱環境の改善に資する効果が期待できます。

また、めぐろの森をつなぐことで様々ないきものの移動を助け、区内におけるいきものの生息・生育環境の保全・回復を図ります。

イメージ図を作成予定です。

図 8-2 風といきもののみどり軸のイメージ

③ 人といきものがにぎわうみどり軸

緑道や街路樹、道路植栽帯、生け垣、屋上緑化などをつなぎ、人といきものにぎわいを創出する骨格的な基本軸として「人といきものがにぎわうみどり軸」を設定します。

樹木や草本等のみどりを連続させいきものが移動できる空間を確保するとともに、身近に自然とふれあうことのできる軸として「みどりの散歩道」の活用を推進し、沿道の社寺や文化財と調和したみどりの保全・創出により観光資源としての充実を図ります。

イメージ図を作成予定です。

図 8-3 人といきものがにぎわうみどり軸のイメージ

(2) みどりの保全・創出の形成方針

① みどりの減少を抑制するエリア

みどりが特に減少したエリアであり、みどりの減少傾向に歯止めをかけるため、樹木の保全協議や助成制度、保存樹木・保存樹林制度等の活用を推進するほか、次世代の大系木の育成に向けた若い樹木の保存・育成を推進します。また、落ち葉拾いや苗木の育成など区民参加の機会の充実により、地域住民が協働でみどりの保全に取り組む機運の醸成を図ります。

イメージ図を作成予定です。

図 8-4 みどりの減少を抑制するエリアのイメージ

② みどりの創出を推進するエリア

緑被率が低いエリアであることから、公園等の整備や民有地のみどりの保全・創出によって地域の保水力の維持向上などグリーンインフラの取組を推進します。また、屋上緑化・壁面緑化など建築物の緑化、生け垣設置やプランター等を用いた緑化など多様な方法により緑化を進めます。緑化の際は、花や実のなる在来植物の植栽など、生態系に配慮したみどりづくりを推進するための普及啓発を行います。

イメージ図を作成予定です。

図 8-5 みどりの創出を推進するエリアのイメージ

③ 緑化重点地区

区全域を緑化重点地区とし、区全域で緑化の取組を推進します。

区内のみどりを表 8-6、8-7 に示すとおり「まちの樹林」、「いきものの庭」と設定し、それぞれの取組方針を定めることで、区全域での緑化の推進と質の向上に取り組みます。

表 8-6 まちの樹林の取組方針

対 象	
市街地に存在し、いきものの分布域の拡大等の機能を持つ拠点となる緑地で、公園、学校・公共施設内の樹林、社寺林、保存樹林等を対象とします。	
取組内容	取組の例
<ul style="list-style-type: none"> ●社寺や公共施設、学校などの樹林の保全や育成を図ります。 ●樹林の周縁部は、植栽により樹林内の乾燥化を防ぐなど、いきものがすみやすい樹林としていきます。 ●めぐろの森に位置する公園等では、生物多様性保全林の指定を目指し、団体や地域住民と連携して管理運営計画を作成・共有し、人の関わりの中で保全育成していく樹林の形成を図ります。 ●いきものの移動距離等を考え、緑地が不足している箇所には、まちの樹林の確保を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性保全林などによる樹林地の保全。 ●樹林、水辺、草地、日照・日陰地など動植物が生息・生育する多様な環境の創出。 ●区民や専門機関による自然環境のモニタリングの継続。 ●いきものの生息・生育に配慮した公共施設の緑化、公園等の整備・改修。 ●生物多様性保全林事業において設定したゾーニングにもとづく緑地の育成。 ●樹林内の落ち葉、落下枝、倒木、剪定枝の林内処理。 ●舗装などの被覆のない地表面の確保。 ●建築時の緑化計画制度や樹木の保全協議制度による樹木等の保護。 ●学校ビオトープ活動の促進、学校の森の充実。 ●雨水の浸透面積の拡大、地下水のかん養、湧水の保全。 ●保全活動への支援、情報共有の機会の創出。 ●公園での環境学習の推進やいきものとのふれあいの場の創出。

イメージ図を作成予定です。

表 8-7 いきものの庭の取組方針

対 象	
<p>個人の庭やマンションの緑地などの民有地や公共施設等の敷地をいきものの庭として設定し、みどりの軸により、いきものの生育生息環境を広げていきます。</p> <p>さらに樹木、草地、花壇、畑、池、屋上緑化などによる多様な環境によるみどりや土の面が目黒区全域に広がり、まち全体にいきものとのふれあいの場が実現することを目指します。</p>	
取組内容	取組の例
<ul style="list-style-type: none"> ●個々の敷地の緑化や樹木の保全創出、屋上・壁面緑化等による民有地の緑化を推進します。 ●公共施設や公園等の整備・改修により多様なみどりの量を増やし、質を向上します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保存樹木等の指定や樹木の保全協議制度による樹木等の保護。 ●いきものの生息生育に配慮した公共施設の緑化、公園等の整備・改修。 ●建築時の緑化計画制度における緑化の推進。 ●緑化助成制度等による接道部や建築物緑化の推進。 ●角田市からの苗木による植樹運動。 ●落ち葉のリサイクル活動。 ●剪定枝等のリサイクルによるエコスタックや粗朶柵等の設置。 ●樹名板やいきものプレートの設置。 ●実のなる在来種樹木の植栽による野鳥等の誘致。 ●野草が生育し、小動物のすむ「いきものの庭」の認定。 ●総合治水による雨水浸透の拡大。 ●雨庭の作成。 ●緑化の普及啓発や環境学習の推進等。

イメージ図を作成予定です。

(3) 公園等の整備・再整備の方針

①公園等の整備方針

目黒区では、区全域において均等に公園利用の機会を提供することを目的に、一人当たり公園面積 $2.0\text{m}^2/\text{人}$ を目標として公園の整備を進めています。しかし、人口増加の影響もあり、令和 6(2024)年4月1日現在で区民一人当たりの公園面積は $1.75\text{m}^2/\text{人}$ と目標に達していません。また、人口増加に伴い公園が不足する地域が存在しています。そのため、引き続き一人当たり公園面積 $2.0\text{m}^2/\text{人}$ を目標として公園の確保に努めていきます。

一方で、令和 5(2023)年度に実施した「公園等利用実態調査」では、多くの世代で「自然やみどりが豊か」であることは公園利用の主な目的のひとつとなっており、原っぱのようなゆっくりくつろげる空間や、昆虫採集や木登りなど自然とふれあえる公園などへの要望が多くみられました。その他、保育所等の園外保育での利用が増加したことに伴い、乳児・幼児向け遊具の整備が求められていることも明らかとなりました。

今後の公園整備にあたっては、子どもをはじめとした地域住民との対話により、区民のニーズを把握し、住民参加を基本とした共に魅力ある公園づくりを推進し、公園不足の解消を図りながら区民のウェルビーイングに寄与する整備を進めていきます。

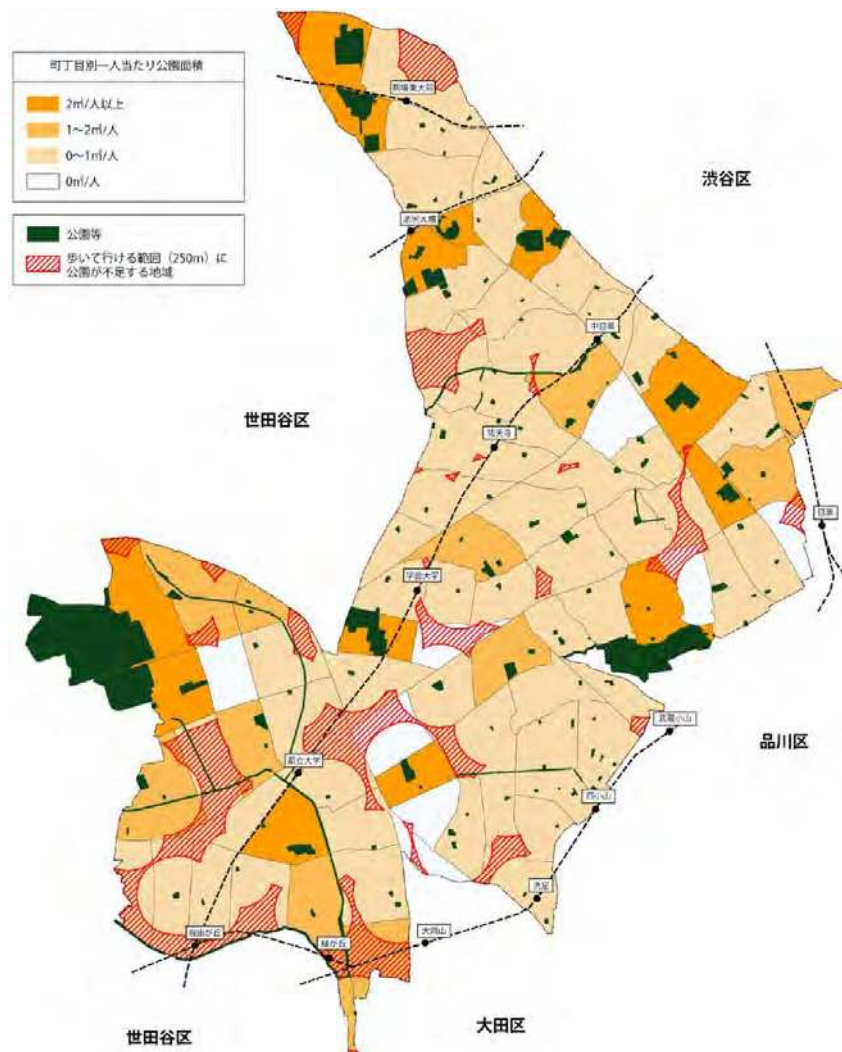


図8-2 公園等の不足区域

②公園機能の再編の方針

公園へのニーズが多様化する一方で、目黒区が設置した公園の多くは1,000 m²以下と小規模であり、ひとつの公園で多くの利用ニーズを満たすことが難しい状況です。そのため、公園不足の解消に努めるとともに、既存の公園が持つポテンシャルを最大限発揮させ、多様化するニーズに対応していくため、地域における公園機能の再編を進めます。

公園機能別に不足区域を分析した結果を踏まえると、図 8-3 に示すとおり、公園機能によってはアクセス距離が長く利用しづらい地域があることが分かっています。そのため、これらの不足区域においては、既存の公園を活用し施設の更新によって機能を見直すほか(図 8-4 参照)、小規模公園の集約や敷地の拡張(図 8-5 参照)などにより公園機能の再編を進めていきます。

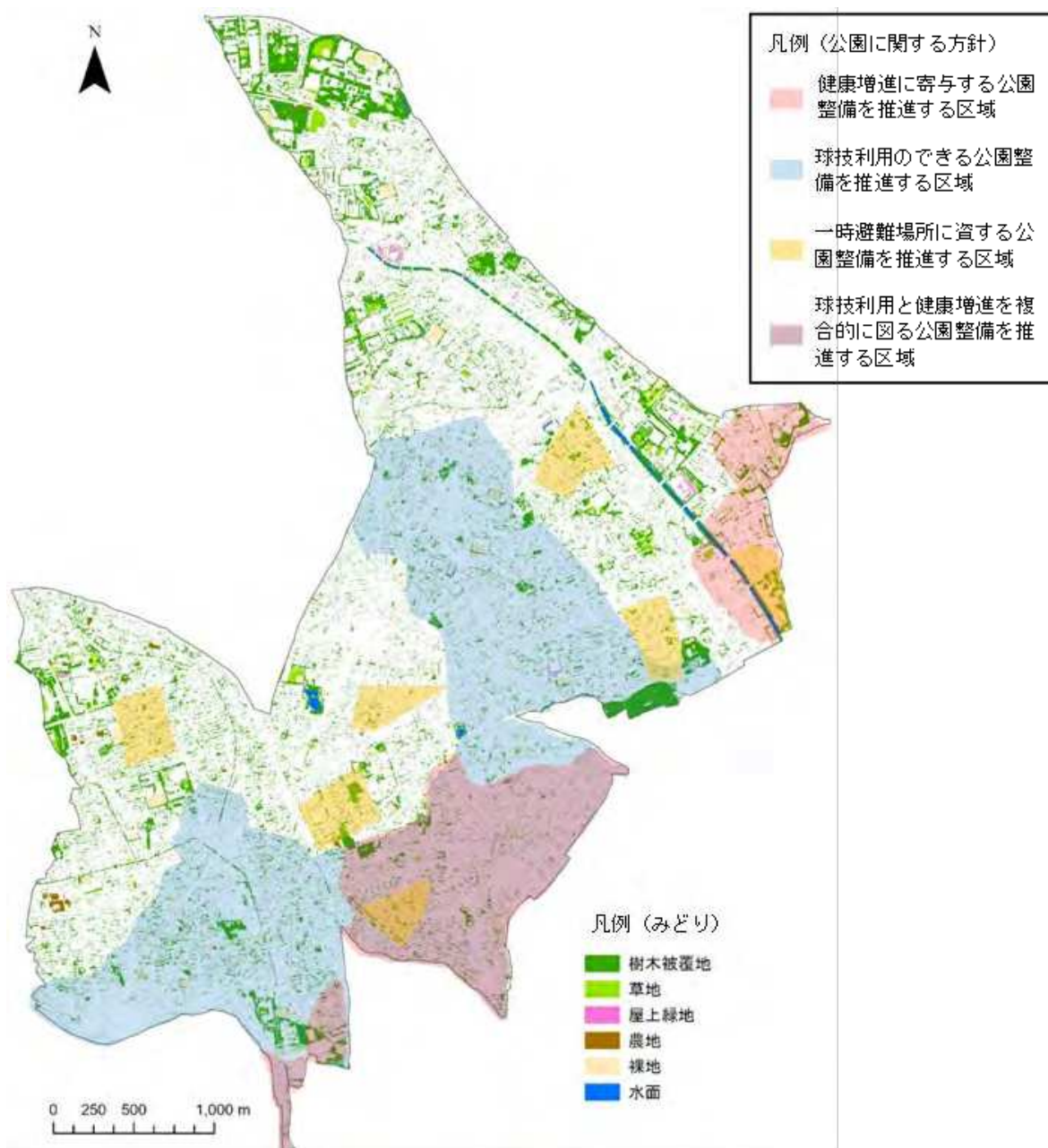


図 8-3 公園機能の再編方針

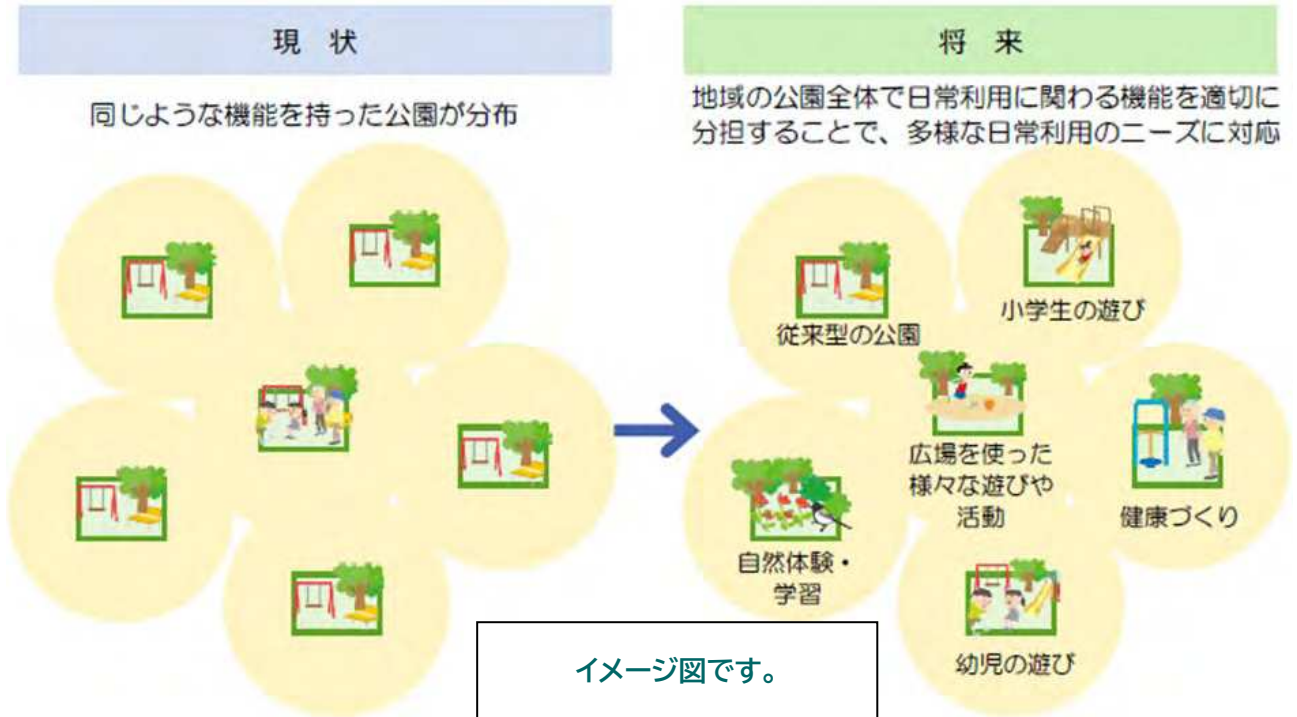


図 8-4 施設更新による公園機能の再編のイメージ

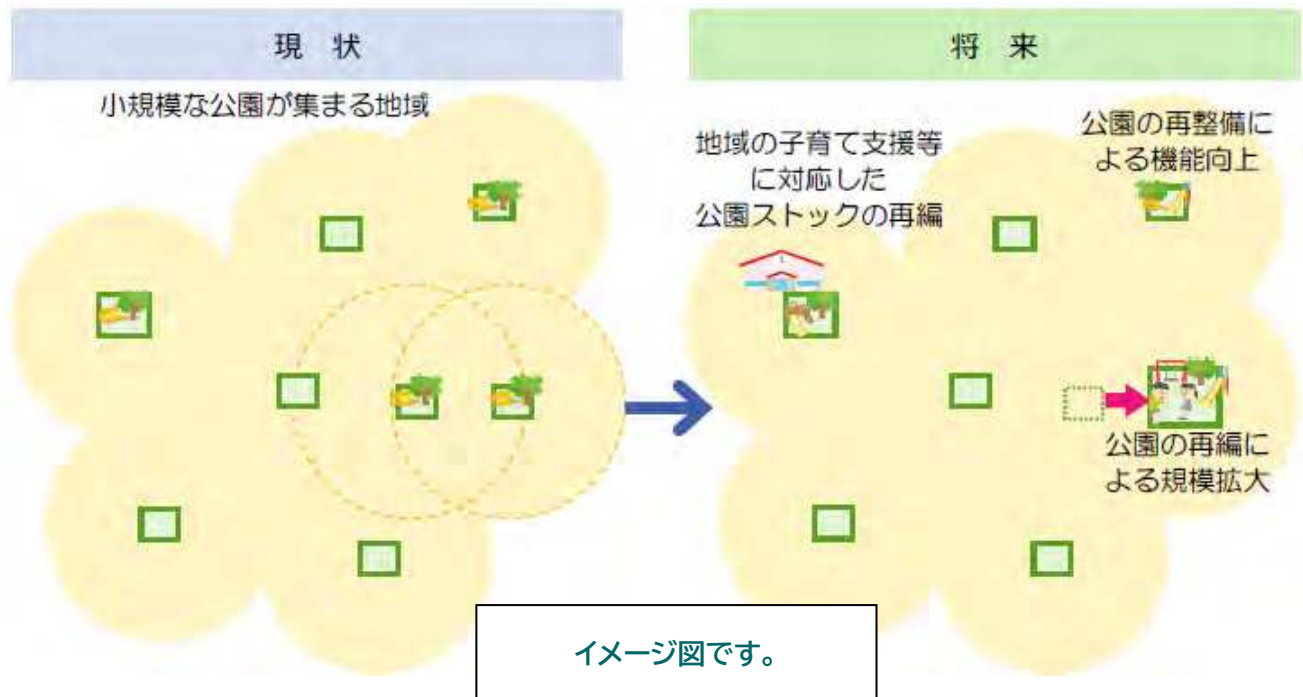


図 8-5 小規模公園の集約や敷地の拡張による再編のイメージ

第2項 各地区の方針

令和5年度みどりの実態調査で整理した地区別のみどりの特性と課題、令和6年度生物調査の成果を踏まえ、地区別の取組方針を設定しました。

なお、各地区のみどりの特性を表す指標について、表8-8に示す点数をもとに地区別に評価しました。



図8-6 地区別方針の5地区

表8-8 みどりの指標

点数	緑被率 (%)	樹木被覆地率 (%)	自然的土地利用 (%)	樹木密度 (本/ha)	緑被変化率 (%)	一人当たりの公園面積 (m ²)
5	23以上	21以上	24以上	20以上	5以上	4.0以上
4	19～23	17～21	20～24	16～20	0～5	2.3～4.0
3	15～19	13～17	16～20	12～16	-5～0	1.3～2.3
2	11～15	9～13	12～16	10～14	-10～-5	0.6～1.3
1	0～11	0～9	0～12	0～10	-10未満	0～0.6
平均値	17.0	14.7	18.3	14.0	-1.8	1.75

注) 樹木密度は道路植栽を除く直径20cm以上を対象

(1) 北部地区

① 地区の特徴

北部地区は緑被率、樹木密度、一人当たり公園面積が最も高い地区であり、緑被面積の50%程度を公園・公共施設・公立学校で占める大規模なみどりが集中する地区です。

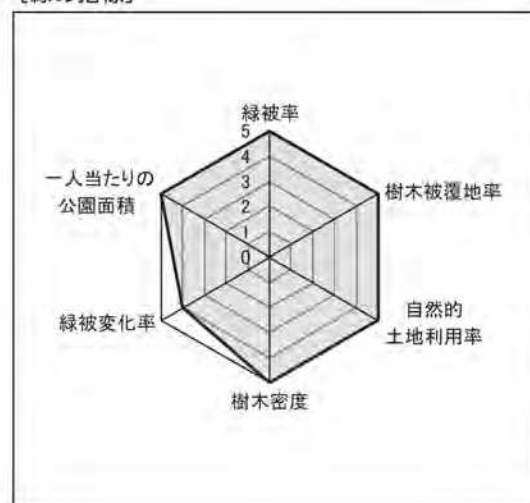
特徴的なみどりとして、東京大学駒場 I キャンパスのみどり、駒場公園、駒場野公園、菅刈公園などの規模の大きいみどりがあり、目黒川、蛇崩川緑道等がこれらのみどりをつなげています。

駒場野の森、菅刈西郷山の森、東山の森の3つのめぐろの森が核となって地域の生物多様性を支えており、駒場野公園、菅刈公園は生物多様性保全林に指定されています。

【基礎データ】

① 面積	268.68 ha
② 人口	46,434 人
③ 人口密度	172.7 人/ha
④ 緑被率	25.1 %
⑤ 緑被変化率	2.9 %
⑥ 樹木被覆地率	21.4 %
⑦ 水面率	0.2 %
⑧ 自然的土地利用	27.0 %
⑨ みどり率	26.6 %
⑩ 一人当たりの公園面積	3.32 m ²
⑪ 樹木本数	5,417 本
⑫ 樹木密度	20.1 本/ha

【緑の指標】



② 主な取組

- みどりの核である3つのめぐろの森でのみどり・いきものの保全を推進するとともに、上目黒1丁目等のみどりの少ない地域においてみどりのまちなみ助成等の緑化を支援する制度を活用し、区民とともに地区全体でのみどりの量・質の向上を図ります。
- 生物多様性保全林事業を活用し、区民とともにいきものの生息環境の保全・創出を推進します。
- 目黒川、蛇崩川沿いのみどりを区民や企業と協働で充実させ、エコロジカルネットワークを強化します。
- 上目黒1丁目の公園不足解消に向けた取り組みを推進します。
- 区民団体や大学、企業等と連携し、みどりの情報発信を積極的に実施するとともに、大規模なみどりを環境教育の拠点として活用し人材育成を推進します。
- 特に生物多様性の取組が進んでいる駒場野公園や菅刈公園から、生物多様性に取り組む輪を広げていきます。

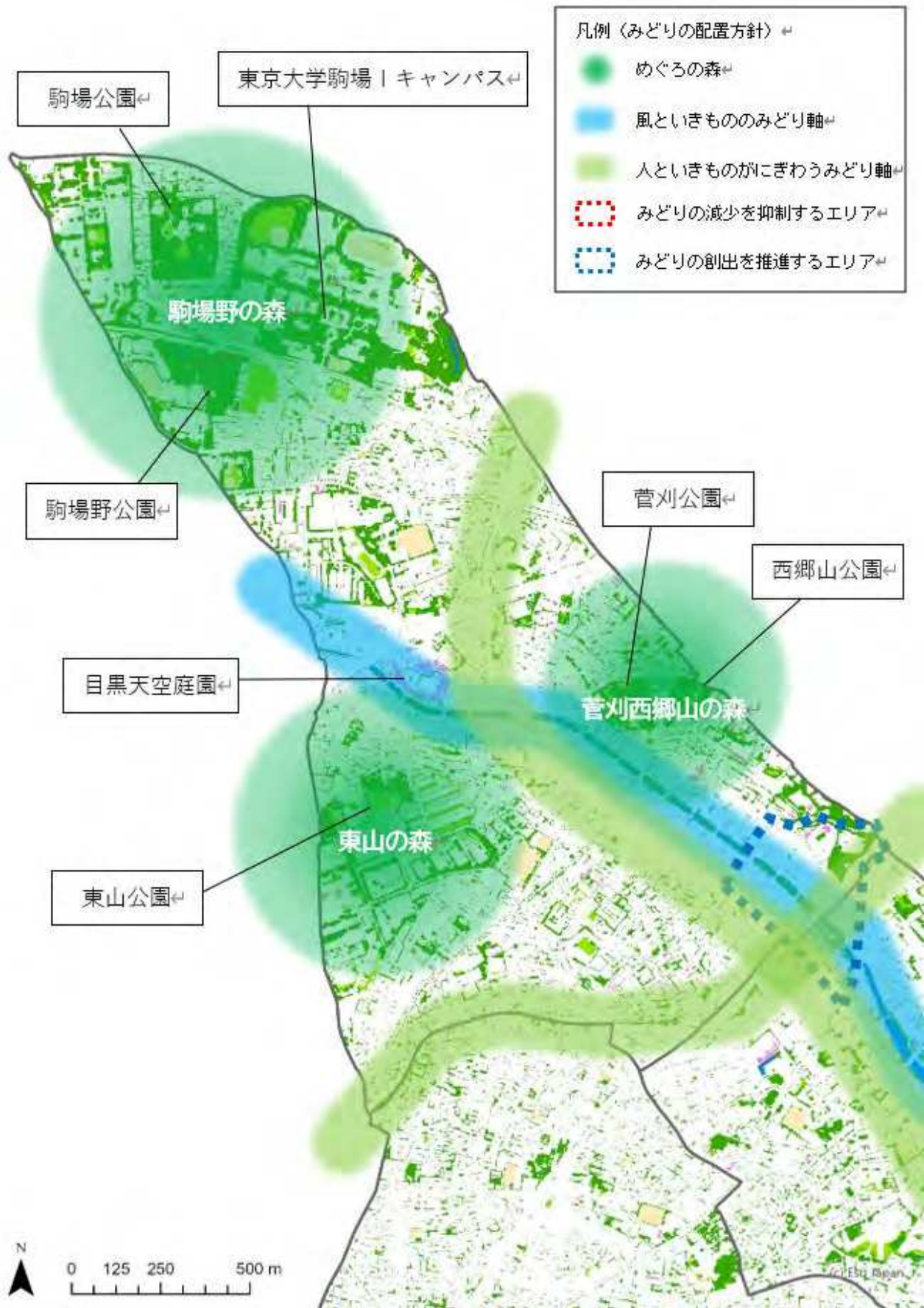


図 8-7 北部地区における方針図

(2) 東部地区

① 地区の特徴

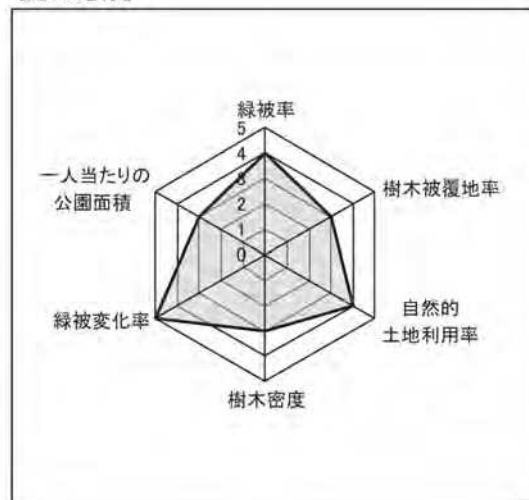
東部地区の緑被率は区全体の平均より高く、緑被面積の40%以上を低層・中高層建築群で占めています。大規模な公園やみどりが集中する地区であり、特徴的なみどりとして、中目黒公園、目黒区民センター公園、田道広場公園、目黒川船入場などの公園等が目黒川の両岸にあり、目黒通りや駒沢通り沿いのみどりとつながっています。

中目黒の森、下目黒不動の森の2つのめぐろの森があり、中目黒公園では栽培植物が多く季節に応じてチョウなどが多数訪れ、林試の森公園は区内一の規模と豊かな樹林が様々ないきものの繁殖の場となり、目黒不動尊の社寺林とともにみどりの核として機能しています。

【基礎データ】

① 面積	287.08 ha
② 人口	58,108 人
③ 人口密度	202.4 人/ha
④ 緑被率	19.5 %
⑤ 緑被変化率	5.4 %
⑥ 樹木被覆地率	16.6 %
⑦ 水面率	1.1 %
⑧ 自然的土地利用	21.6 %
⑨ みどり率	21.7 %
⑩ 一人当たりの公園面積	2.07 m ²
⑪ 樹木本数	4,336 本
⑫ 樹木密度	15.1 本/ha

【緑の指標】



② 主な取組

- みどりの核である2つのめぐろの森でのみどり・いきものの保全を推進するとともに、上目黒2丁目、下目黒2・3丁目等のみどりの少ない地域においてみどりのまちなみ助成等の緑化を支援する制度を活用し、区民とともに地区全体でのみどりの量・質の向上を図ります。
- 目黒通りや駒沢通り、目黒川沿いのみどりを区民や企業と協働で充実させ、エコロジカルネットワークを強化します。
- 中目黒3丁目、下目黒1・4丁目の公園不足解消に向けた取り組みを推進します。
- 公園等の機能再編により、三田1・2丁目、目黒1丁目、下目黒1・2丁目での健康増進機能の向上を図るための検討を進めます。
- 目黒不動尊のみどりなど民有のみどりの保全に向けた支援の拡充に向けた検討を進めます。
- 中目黒公園でのボランティア育成、区内の公園での活動支援を行います。

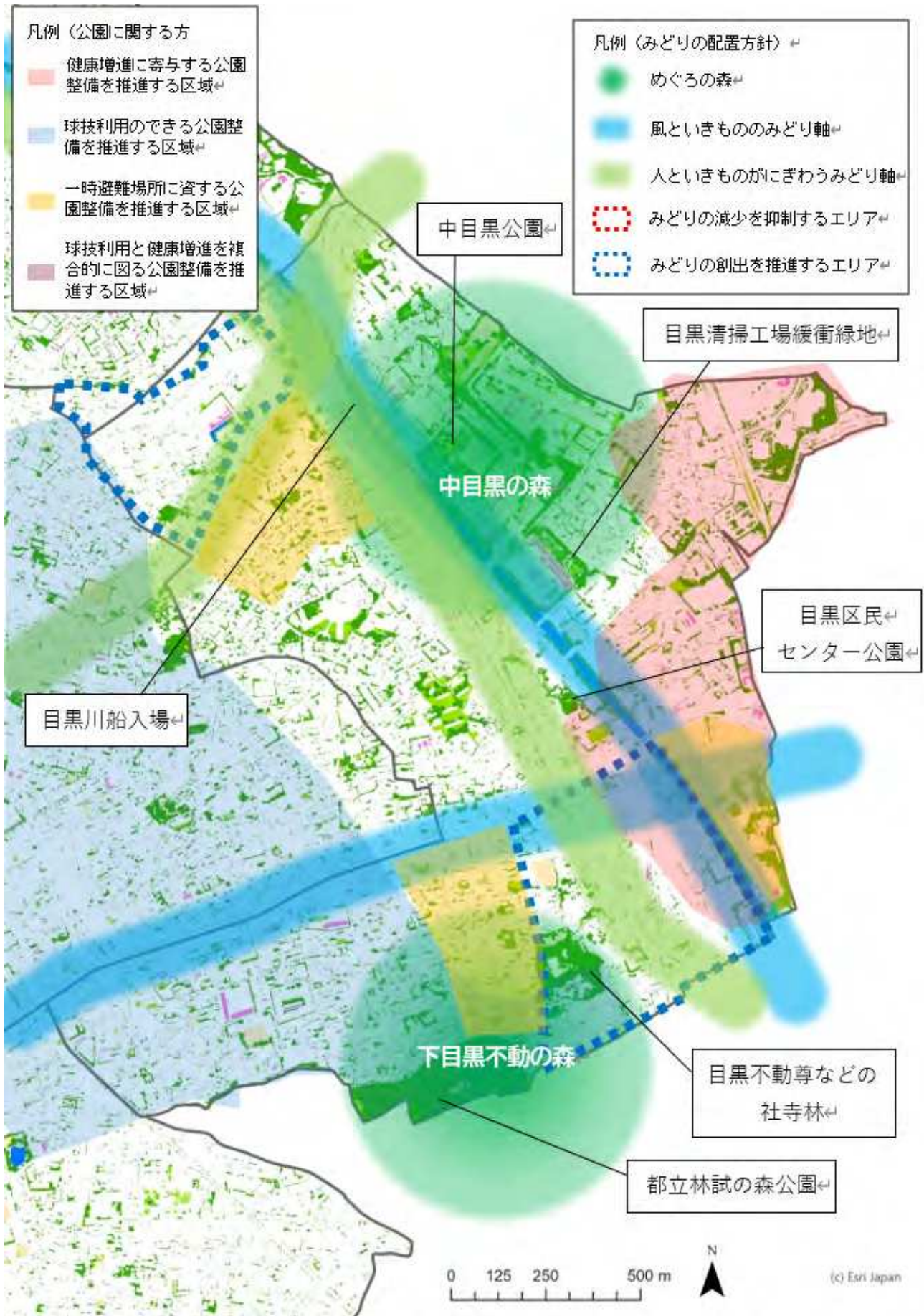


図 8-8 東部地区における方針図

(3) 中央地区

①地区の特徴

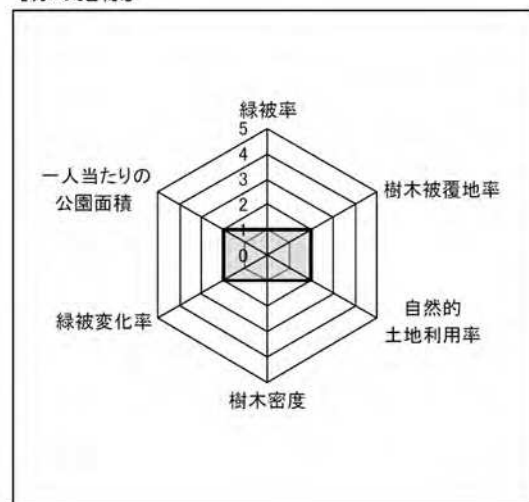
中央地区の緑被率・樹木密度はともに最も低く、緑被面積の48%を低層建築群で占めており、一人当たり公園面積は区平均よりも低くなっています。

大規模な公園が比較的少ない地区ですが、区内で最も利用者数の多い碑文谷公園をはじめ、アスレチック遊具のある中央緑地公園や令和7年3月にリニューアルした油面公園などがあります。また、碑文谷公園一帯の碑文谷の森は地域のみどりの核として機能しており、生物多様性保全林事業の取組が行われているほか、祐天寺の社寺林など貴重なみどりが駒沢通り沿いのみどりでつながっています。

【基礎データ】

① 面積	264.13 ha
② 人口	54,934 人
③ 人口密度	207.9 人/ha
④ 緑被率	10.8 %
⑤ 緑被変化率	-5.3 %
⑥ 樹木被覆地率	9.6 %
⑦ 水面率	0.3 %
⑧ 自然的土地利用	12.0 %
⑨ みどり率	12.0 %
⑩ 一人当たりの公園面積 ※	1.2 m ²
⑪ 樹木本数	2,750 本
⑫ 樹木密度	10.4 本/ha

【緑の指標】



②主な取組

- みどりの核である碑文谷の森でのみどり・いきものの保全を推進するとともに、保存樹木・保存樹林制度、生産緑地制度等を活用し残存するみどりの保全・育成に努め、祐天寺2丁目、中央町1丁目等のみどりの少ない地域においてみどりのまちなみ助成等の緑化を支援する制度を活用し、区民とともに地区全体でのみどりの量・質の向上を図ります。
- 駒沢通り、目黒通り沿いのみどりを区民や企業と協働で充実させ、エコロジカルネットワークを強化します。
- 鷹番1丁目の公園不足解消に向けた取り組みを推進します。
- 地区東部において球技利用のできる公園整備など、区民の意向を踏まえた公園等の機能再編に取り組みます。
- 祐天寺の社寺林など民有のみどりの保全に向けた支援の拡充に向けた検討を進めます。
- 碑文谷公園での更なる生物多様性保全林の取組を推進します。

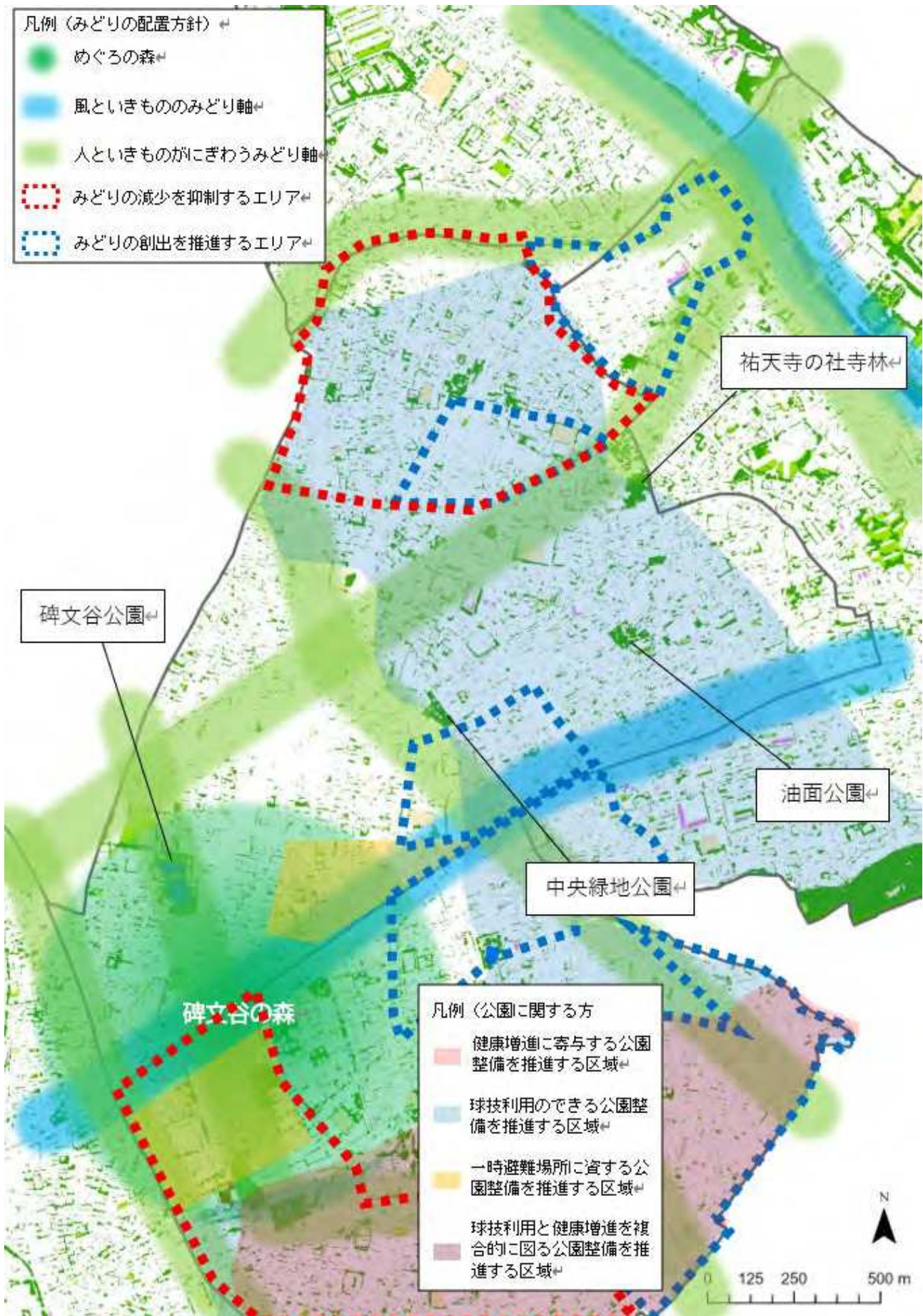


図 8-9 中央地区における方針図

(4) 南部地区

① 地区の特徴

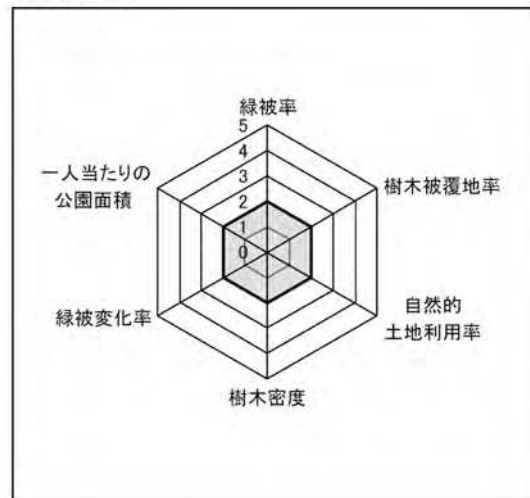
南部地区の緑被率・樹木密度は他の地区と比べて低く、一人当たり公園面積は 0.6 m²/人と最も低い地区となっています。

大規模な公園が少ない地区ですが、すずめのお宿緑地公園や田向公園周辺の碑文谷の森は、碑文谷八幡宮の社寺林や民有の屋敷林などと合わせて、地域のみどりの核として機能しています。また、目黒通りや立会川緑道といった連続するみどりがエコロジカルネットワークを形成し、地域の生物多様性保全に寄与しています。

【基礎データ】

① 面積	226.79 ha
② 人口	50,010 人
③ 人口密度	220.5 人/ha
④ 緑被率	12.2 %
⑤ 緑被変化率	-6.2 %
⑥ 樹木被覆地率	11.0 %
⑦ 水面率	0.1 %
⑧ 自然的土地利用	13.5 %
⑨ みどり率	12.7 %
⑩ 一人当たりの公園面積	0.56 m ²
⑪ 樹木本数	2,421 本
⑫ 樹木密度	10.7 本/ha

【緑の指標】



② 主な取組

- みどりの核である碑文谷の森でのみどり・いきものの保全を推進するとともに、保存樹木・保存樹林制度等を活用し残存するみどりの保全・育成に努め、目黒本町2丁目等のみどりの少ない地域においてみどりのまちなみ助成等の緑化を支援する制度を活用し、区民とともに地区全体でのみどりの量・質の向上を図ります。
- 目黒通り、立会川緑道等の周辺のみどりを区民や企業と協働で充実させ、エコロジカルネットワークを強化します。
- 碑文谷4丁目の公園不足解消に向けた取組を推進します。
- 地区南東部において、球技利用や健康増進を総合的に図ることのできる公園整備など、区民の意向を踏まえた公園等の機能再編に取り組みます。
- 碑文谷八幡宮の社寺林など民有のみどりの保全に向けた支援の拡充に向けた検討を進めます。
- 木密事業と連携した公園整備を推進します。



図 8-10 南部地区における方針図

(5) 西部地区

① 地区の特徴

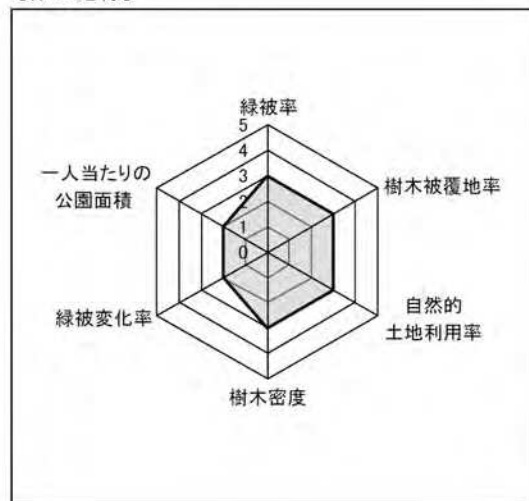
西部地区は緑被率・樹木密度・一人当たり公園面積ともに平均的な地区であり、大規模な公園やみどりが比較的多い一方で、平成 26(2014)年度から緑被地が最も減少した地区でもあります。特徴的なみどりとして、都立駒沢オリンピック公園や斜面林を活用した中根公園、児童交通施設が併設された衾町公園等があるほか、体験農場としても活用されている農地や氷川神社の社寺林等の貴重なみどりがあります。

また、大岡山中根の森、東が丘衾の森といった2つのめぐろの森が地域のみどりの核として機能し、目黒通りや駒沢通り、呑川本流緑道等がエコロジカルネットワークを形成し、地域の生物多様性の保全に寄与しています。

【基礎データ】

① 面積	420.14 ha
② 人口	69,765 人
③ 人口密度	166.1 人/ha
④ 緑被率	16.6 %
⑤ 緑被変化率	-7.8 %
⑥ 樹木被覆地率	14.3 %
⑦ 水面率	0.0 %
⑧ 自然的土地利用	17.8 %
⑨ みどり率	17.6 %
⑩ 一人当たりの公園面積	1.73 m ²
⑪ 樹木本数	5,541 本
⑫ 樹木密度	13.2 本/ha

【緑の指標】



② 主な取組

- みどりの核である2つのめぐろの森でのみどり・いきものの保全を推進するとともに、保存樹木・保存樹林制度、生産緑地制度等を活用し残存するみどりの保全・育成に努めます。中根公園では、生物多様性保全林の指定に向けた取組により、区民とともに自然環境の保全・回復を図る活動を後押しします。
- 駒沢通り、目黒通りや呑川本流・柿の木坂支流・駒沢支流緑道沿いのみどりを区民や企業と協働で充実させることでエコロジカルネットワークを強化し、歩行者が憩うことのできる空間の整備を推進します。
- 八雲4丁目の公園不足解消に向けた取組を推進します。
- 地区南部において球技利用のできる公園整備など、区民の意向を踏まえた公園等の機能再編に取り組みます。

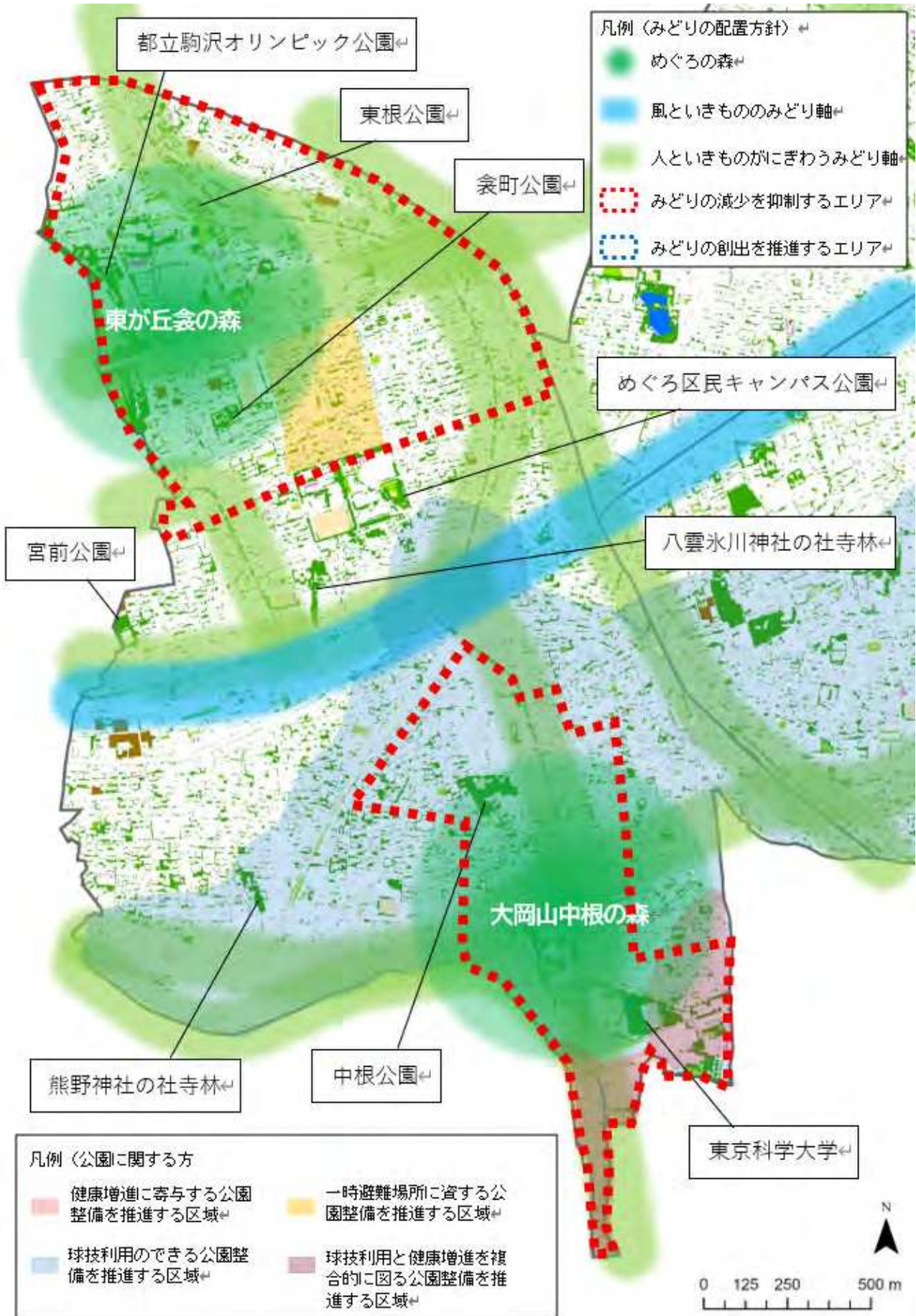


図 8-11 西部地区における方針図

第3項 7つの風景の目標指標種

「めぐろの風景」における環境形成の目標指標種を設定します。指標種は、過去の動植物の資料や、区民による身近な生物調査の記録から選んでいます。

表 8-9 7つの風景に応じた目標指標種

区分	多様な環境づくりの考え方	指標種
安らぎのある水の風景	岸から水中まで続くなだらかな傾斜をつく	鳥類・カイツブリ コアジサシ カロセニ キジバ
多様な生き物が賑わう風景	いと集る	
街中にある受け継がれる農地の風景	目ちま	
原っぱの風景	草バ高選	
屋敷林や鎮守の森の風景	既のるまよい	
都市の森の風景	階形し水水	
人といきものを繋ぐまちなかのみどりの風景	スたが物化ま蜜ツり	(園芸種)

多様な環境づくりの考え方、指標種は検討中です。

第9章 進行管理

検討中です。

第1項 体制

第2項

確認方法(推進施策スケジュール)

第3項 周知方法

